

☆新成人を祝い励ます会→1月7日(日) 14時00分
会場 東部コミュニティセンター

配布
大洞 4-64
東山 4-54
北山 38-358
コア北 5-88

桜台 23-316
桜市 40-192

5棟 2-18
9棟 4-26

柏台 31-314

柏市 26-161

桐丘 23-186

桐市 6-35

紅葉 21-256

紅市 16-95

桜2P 1-17

合計 237-2180

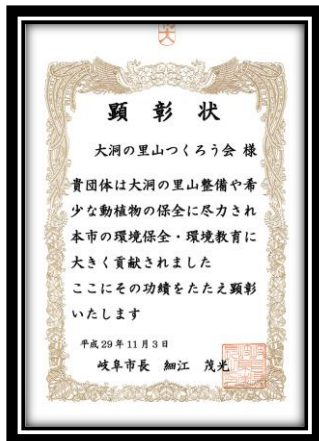
里山つくろう会 大洞の里山は地域の宝

—大洞の里山つくろう会会長・岡庭 勇さん

大洞の里山は、貴重な動植物の宝庫で地域の宝です。この里山を守り次の世代に引継ぎ地域を元気にしようと、大洞の里山つくろう会を立ち上げて8年目に入り、今年も会員53名が毎月第四土曜日に、里山整備活動の日としていこいの広場、雑材や枯れ木の伐採、雑草取り、遊歩道の整備を行っています。里山には陽の光が差し込み、風通しが良くなって生き生きとしてきました。また、里山農園で野菜づくりなどの作業もやっています。

イベントの開催として、春は「天ぷらパーティー」夏は「流しソーメン」、秋は「里山まつり」です。地域の保育園、小・中学生の自然学習も行っています。

今年度の岐阜市環境活動顕彰選考委員会において、大洞の里山つくろう会の活動が顕彰されることとなり、11月3日に「第16回岐阜市まるごと環境フェア」(ぎふメディアコスモス)において顕彰式があり、岐阜市長より表彰状をいただきました。



郵便局 新年のあいさつは 年賀状で

—岐阜大洞郵便局局長・後藤 幹司さん

今年も芥見東小学校2年生のみなさんが、来年の干支「いぬ」を描いた年賀状の展示会を、12月14日(火)まで開催中です。このイベントは芥見東小学校のご協力もあり、今年で4年目を迎えました。児童の皆さんや保護者、近隣の方々が見学を訪れ、ご好評をいただいております。地域の皆様、ぜひ、児童の皆さんが描いた可愛らしい「いぬ」の絵をご鑑賞しにお越しく下さい。



近年、年賀状を出す児童がかなり少なくなりました。新年のあいさつを手紙で行うという習慣に触れるいい機会になればと願っています。



水防団 団結は大きなパワーになる!

—芥見水防団分団長・遠藤 成幸さん

地震や台風、集中豪雨などの災害は私達には防ぎようがない自然の営みです。私たちが自然とうまく付き合っていくために、災害に対して備えておくことが大事だと思います。災害時は誰でもパニックになるのが当たり前です。しかし、まずは落ち着き、自分の身は自分で



守ることを優先し、自分の安全が確保でき次第、被害を最小限に抑えられるよう行動を起こしましょう。ひとりでは微力ですが、多くの人が集まり団結すればとても大きなパワーとなります。災害が起きてからすぐに団結するというのはなかなか難しいかと思えますので、日ごろからの近所同士の助け合いやふれあいが大事になってくると思えます。今年の防災訓練で藍川東中学校と北山地域の方には土のう作り体験をしていただきました。みなさん真剣に体験していただきましたので、災害時きつと力を発揮してくださると信じております。



藍東中PTA 愛着持って生き生きと

—藍川東中学校PTA会長・加藤 拓真さん

少子高齢化が叫ばれて久しくなります。特に藍川東中校区は岐阜市内でもトップクラスの高齢化地域だと聞きます。確かに、私達のところと比べれば中学校の各学年の学級数は半分以下、確実に子どもの人数が減っています。



ところがどっこい、地域での子供たちの活躍は他の地域の方がうらやむほど活発です。地域から依頼されるこいのぼりやみどりっこバス、市民運動会などなどのボランティアを募れば、要請数をはるかに超える人数が集まります。各種ボランティアに楽しく、元気に参加することが子どもたちに根付いているなあ実感します。

こうした活動を通じて、自分たちが育ったこの地域に愛着を持ち、お年寄りも若者もすべての方が生き生きと生活できる故郷を共に作っていければと思います。

これからも子どもたちを温かく見守ってください。よろしくお願いたします。



☆ふれあいカラオケ祭り→12月10日(日) 9時30分~16時 会場 東部コミュニティセンター

被災地交流 震災 多くの人に伝えたい

—藍川東中学校3年・中埜 夏一さん

この研修は思っていた以上に有意義で、3日間を通して中身の濃い活動ができ、学ぶことが多くありました。地元の中学生は小学校低学年で震災にあった世代で、つらいこと、悲しいことなど、大変な目にあったはずなのに明るく、前向きで、過去に留まらず、今を生きて、いつまた来るか分からない災害に備えさまざまな工夫をしており、備蓄倉庫にたくさん物資を蓄えたり、仮設トイレやテントを設置する訓練をしたりしていました。

語り部さんは、「災害が起きたときのことについて、家族と話し合っしてほしい」と、当時の状況、気持ちなどを、語っていただきました。語り部さんの話は多くの人に聞いてほしいと思いました。今回の研修で出会った人たちは、



皆何らかの形で東日本大震災を、忘れず、伝え残そうとしており、この未曾有の大震災は決して忘れてはならないことです。

これから、学校や家庭で多くの人に学んできたことを伝えます。被災地の方々は、どこへ行っても温かく迎えてくださり多くのことを教えてくださいました。貴重な体験ができたことをうれしく思います。 □■

インタビュー 「ケ・セラ・セラ！」

—紅葉が丘支部・UKさん

前回に引き続き、地域内で、90歳以上のお元気な方にその元気な秘訣をお聞きする機会を設け、その第二弾として紅葉が丘にお住まいのUKさんにお話を伺ってきました。

—若いころから何かされているのですか？

夫婦共々健康であります。特に思い当たることはありません。生まれた時期が世界恐慌の中、戦争もあり、自由が全くなく、選んで食べるなど皆無で、何でも食べました。強いて言えば、特攻隊の訓練で、限界まで厳しく鍛えられたこと、戦後、山登りや、溪流釣りが好きでそこから中を歩き回ったことで、体力がついたのかもしれませんが。また、食でいいますと、戦時中の反動で、戦後は、食べたいという欲求で、松阪へ行ったり、北海道へも行きました。



—その他に何かありますか？

そうですね、食に関しては、牛乳をよく飲み、チーズなどの乳製品もよく食べます。30代の頃、仕事で景気のいい時にお酒を飲みすぎて体をこわし、それ以来お酒からワインに変え、今日まで元気にやっています。

—最後に、地域の皆様へ一言お願いします。

私の好きな言葉は、「ケ・セラ・セラ」です。これは、「なるようになる」という意味ですが、あまり「悩みすぎない」ということがいいのかもしれませんが。私もまだ車を運転するのですが、ブレーキとアクセルを間違えるという事故を見聞しますが、運転する際は靴底の薄いものを履き、「感覚」を大切にしてほしいです。

☆プロフィール☆

茨城県出身。各地を回って、一宮市に定住し、父の家業である紡績業を継ぎ75歳まで代表を務める。現住所へは40年前に引っ越し。小学校から始めたスキーは85歳まで続けた。78歳からはハーモニカも始め、最近ではカラオケに生きがいを見つけました。 □■



支部長 いつか起こる災害に関心を！

—柏台市営支部支部長・GNさん

私は、柏台市営に住み24～25年になります。今年初めて支部長という大役をすることになり、不安ばかりで本年度が始まりました。自治会長6人で、何とか半年間頑張ってきました。

初めの行事は、防災訓練でした。見守り愛チームリーダーや他の方への連絡不足



で人が集まらなかった事、皆さんの関心の薄さを感じました。いつか起こり得る災害の関心を持ってもらうには、一世帯に一人参加してもらえたらと思いました。

それから運動会の行事で、本部の方、支部長、自治会長他の役員の方々で行うテント張りなどの準備、毎年大変だと思います。今年は雨で中止でしたが、自治会の方では、競技に参加して下さる方が見当たらないことが一番苦労しました。

団地も高齢化が進み若い方が少なく、今後、年々高齢化が増す地域になっていくので、自治会行事も色々と考えていく必要があると感じました。あと、5か月余り頑張ります。 □■